

問われる日本の 危機管理

災害・事故・テロ発生
時の意思決定はどうあ
るべきか

【日 時】 **2016年2月13日(土)**
午前10時半～午後3時半(午前10時開場)

【会 場】 千葉科学大学(マリーナキャンパス)
防災シミュレーションセンター

【参加費】 無料

【主旨】

突然の災害時、自分の命を守るためにどこに逃げたらいいのだろう。ケガをしたとき、どこへ行けば適切な治療を受けられるのだろう。食べ物や水はどうすれば手に入るのだろう——。2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災現場で多くの人々が戸惑い、悩みました。あれから4年、被災地の復旧・復興は少しずつ実現していますが、災害当時、人々が戸惑い、悩んだ問題点の改善は遅々として進んでいません。

様々な危機に直面したとき、被害を最小限に抑えるための、正しい判断(意思決定)や行動を促進するには、どのような法律や制度の改善が必要なのでしょう。人々はそのような準備をすれば良いのでしょうか。

そのような問題の解決策を検討するために、日本(アジア)で初の危機管理学部を創設した本学が「災害・紛争・テロ等における意思決定のあり方」をテーマにシンポジウムを開催します。

基調講演



篠塚 保 氏

千葉科学大学客員教授
元外務省国際テロ対策等
担当大使

セッション討論者



田村 重信 氏

自民党政務調査会調査役



菅野 幸治 氏

前福島県防災専門監



仲西 宏之 氏

一般社団法人
日本防災教育振興中央会
代表理事



秋富 慎司 氏

防衛医科大学校救急部兼
防衛医学研究センター
外傷研究部門講師

【お問い合わせ】



千葉科学大学

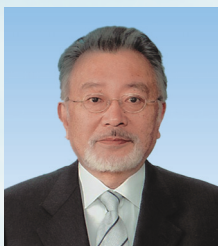
CHIBA INSTITUTE OF SCIENCE
危機管理学部 危機管理システム学科

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15番地8

E-mail:kikisympo@cis.ac.jp

【シンポジウム・スケジュール】

- 10:30-10:40 赤木靖春学長・来賓挨拶
- 10:40-11:40 基調講演 篠塚保客員教授 (千葉科学大学)
- 〈休憩〉 ———
- 12:40-13:00 シンポジウム開催の意義と「総合危機管理学会」(仮称)創設の意図 伊永隆史副学長
- 13:00-14:30 セッション討論
- 第1セッション：意思決定のための現行法、制度の問題点を探る
【コーディネーター】佐藤庫八教授 (危機管理システム学科)
- 第2セッション：住民・民間団体が正しい意思決定をするためには
【コーディネーター】木村栄宏教授 (危機管理システム学科)
- 14:30-15:30 総合討論 【コーディネーター】東祥三教授 (危機管理システム学科)



東祥三 教授
外交・安全保障
国際関係論、国家危機管理



五十嵐 信彦 講師
政策形成過程
行政組織、環境



王 晋民 教授
産業・組織心理学
社会心理学、危機管理の心理学



大澤 文護 教授
国際関係論、安全保障論
東アジア地域研究 (朝鮮半島情勢)



粕川 正光 講師
認知心理学、情報科学



木村 栄宏 教授
リスクマネジメント、BCP
経営と組織、キャリアデザイン



酒井 明 特任教授
危機管理法体系
国際関係におけるリスク危機管理



佐藤 庫八 教授
安全保障法制、国民保護法制
防災行政 (自衛官・安全保障系)



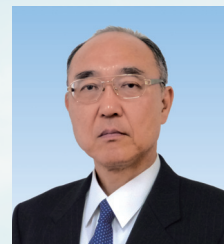
戸田 博也 准教授
国際法、国際安全保障
国際連合 (公務員試験対策)



八角 憲男 教授
無形資産の会計、M&A
中小企業のブランド価値評価



藤本 一雄 教授
地震工学、地震防災学
災害リスクマネジメント



村上 徹 教授
警察法、犯罪学、科学捜査
(警察官・犯罪科学系)

ご案内 Access [交通アクセス]

